

そばにいる安心を、いつも。

「日赤さんが来てくれたのなら、大丈夫」

熱海市伊豆山土砂災害にあわれた避難者の方から、被災地へ派遣された赤十字病院の看護師が掛けられた言葉です。

県民のみなさまへ、どんなときにも安心を届けていきたい。

これからも私たち日本赤十字社静岡県支部は、「いのちと健康を守る」活動をつづけていきます。



※熱海保健所で活動する医療救護班(伊豆赤十字病院)

赤十字活動資金へ、継続的なご協力をお願いいたします

赤十字の活動を持続可能にするために、みなさまのご支援を。

日本赤十字社静岡県支部は、県民のみなさまからのご寄付を原動力に、災害救護をはじめとする様々な活動を行っています。

// これまで // 災害時における「救う」経験を重ねて。

静岡県支部は、令和3年7月の熱海市伊豆山土砂災害において、発災直後から行政や災害派遣医療チーム(DMAT)、災害派遣精神医療チーム(DPAT)、保健師等と連携し、情報共有を図りながら、被災者へ寄り添う支援を行いました。

救う

医療救護班の派遣 1班(派遣日:7月4日)

伊豆赤十字病院から救護班1班を派遣し、避難されている51名の方々に、問診など健康状態の確認を行い、2名の診療にあたりました。



災害救援品の配付(熱海市、沼津市、富士市)

毛布	78枚	タオルセット	386個
緊急セット	38個	下着セット(男女)	1,036個



支える

こころのケア班の派遣 9班(派遣期間:7月7日~7月31日)

避難所となったホテルの居室を巡回し、約250名の被災者を訪問。その内66名の方が避難生活で抱く不安や悩みなどのストレスを抱えていて、こころのケア班は「傾聴」と「共感」の姿勢を大切に活動にあたりました。



// これから // いつ起こるか分からない災害に備えて。

備える

災害救護訓練の実施

救護活動に必要な知識と技術を習得し、近隣の日赤各県支部との連携を図るための連携強化を目的とした訓練を実施します。コロナ下で災害が起きたときでも迅速な活動ができるよう工夫して取り組んでいきます。



災害救援品の整備

熱海市伊豆山土砂災害において、ホテルが避難所となり寝具等は備えられていたため、「避難直後は下着セットのニーズが高かった」との報告が日赤熱海市地区からありました。この経験を踏まえ、令和4年度は下着セットを追加整備するなど、災害時に必要な救援品を迅速に配付できるよう県内各地に備蓄してまいります。



▲下着セット
◀緊急セット

赤十字講習の普及

いつどこで起こるか分からない自然災害や事故等に備え、大切ないのちを守るための手当や日常生活での事故防止の知識と技術を普及するため、県民のみなさまを対象に講習を開催しています。令和4年度は、「救急法」「水上安全法」「幼児安全法」「健康生活支援講習」等の講習を約670回、約25,000人の県民のみなさまに、受講いただけるよう取り組んでいきます。



様々な地域活動に、赤十字をご活用ください！

静岡県支部では、災害による被害を減らすための知識や技術を学べる「赤十字減災セミナー」や地域での高齢者支援の一助となる「赤十字健康生活支援講習」を開催しています。自治会や町内会等で、赤十字のセミナーや講習を活用してみませんか？



赤十字の活動を知っていただくために、ご協力ください！

本紙「赤十字しずおか」は年3回(春・夏・冬)発行し、当支部WEBサイト上に公開中です。県内の赤十字活動をより知っていただくため、本紙を店舗や共用施設等に設置・配布いただける企業・団体様を募集しています。



日本赤十字社の活動

日本赤十字社静岡県支部の活動は、地域のみなさまをはじめ多くの方々の「いのちと健康を守る」ためにあります。

災害救護活動



災害時にいち早く救護班等を派遣し、救護活動を実施。そのために訓練・研修を通じた人材育成、機材整備、救援品備蓄等を行い、常に災害に備えています。

赤十字講習



大切ないのちを救いたいという思いに基づき、「救急法」「水上安全法」「幼児安全法」「健康生活支援講習」を行っています。

医療事業・看護師養成



県内5つの赤十字病院は、救急医療や地域に根ざした医療を行っています。また、広く社会に貢献できる赤十字精神をもち、災害救護活動に対応できる看護師を養成します。

国際活動



世界的ネットワークを活かして、紛争や自然災害による被災地への緊急支援、中長期的な復興支援を行うための職員派遣や事業を行っています。

赤十字奉仕団



各種奉仕団があり、災害時だけでなく、日常生活においても特技や技術を活かし、地域で活動できるようボランティアリーダーの育成等を図っています。

青少年赤十字



園児・児童・生徒に赤十字の精神を伝え、「やさしさと思いやりの心」を育む事業です。主体性を育てるために「気づき・考え・実行する」という態度目標を大切に活動しています。青少年赤十字創設100周年を迎える令和4年は、「未来のあなたへ、やさしさ。」をテーマに様々な活動を展開します。



血液事業

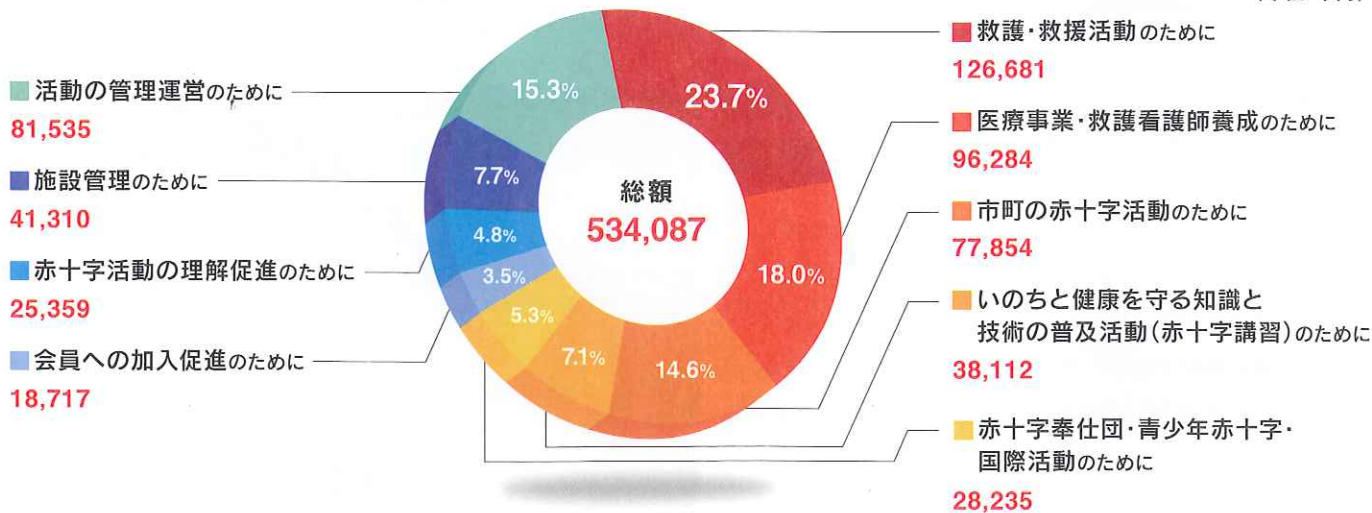


病気の治療等で輸血を必要とする人々を救うため、安全な血液製剤を24時間体制で医療機関へお届けできるよう、支援しています。

活動資金の用途

令和2年度にみなさまからお寄せいただいた活動資金は、下記のとおり大切に活用させていただきました。ご協力ありがとうございました。

(単位:千円)



※災害発生時に受け付ける「義援金」は、全額が配分委員会を通じて被災した方に届けられます。

ご自身や故人の思いを広く
社会に役立てるために

近年、「自分が築いた財産を社会のために役立てたい」「故人の遺産を社会に役立ててほしい」という尊いお申し出が増えています。詳細をご希望の方に、ご案内のパンフレットを送付いたしますので、組織振興課までお問い合わせください。TEL 054-252-8131



静岡県支部

〒420-0853 静岡市葵区追手町44-17

TEL 054-252-8131 <https://www.jrc.or.jp/chapter/shizuoka/>

日本赤十字社



この印刷物は、みなさまからいただいた資金で作っています。